

総会に先立ち、一言ご挨拶申し上げます。

この度は第 32 回香川県中途失聴・難聴者協会総会がこのように盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

湯浅会長をはじめとします会員皆様の、これまでご尽力された賜物と心から敬意を表する次第でございます。

さて 2 年後に迫った 2020 年オリンピックパラリンピックに向けて、国内はオリンピックムードが高まっております。各種競技はもとより、パラリンピックと言った障害者スポーツにも関心が注がれており、今年 9 月には高松で日本パラ陸上選手権全国大会が開催され、またそれに関連して、県下でも昨年から『あすチャレアカデミー』や『ユニバーサルマナー』と言った研修、共生社会や多様性などの『ダイバーシティ』という表現が随分と増えており、ますます障がいへの理解促進・対応などが進んでおります。

また国や自治体が進めています IT や ICT、AI と言ったテクノロジーの活用につきましても、今後更なる発展や進歩が見込まれており、それらを活用しての障がい者の社会進出や自立支援への期待も高まってきている次第です。

手前みそですが私たち親の会といたしましても、昨年度高松市協働企画提案事業で ICT とユニバーサルデザインの推進という事業が採択され進めてまいりました。今年度も継続事業として進めていく予定で、更なる利活用を鋭意提案・実施する予定となっております。

今、当事者団体や私たち家族会として、このオリンピックパラリンピック・テクノロジーの活用と言った環境をどのように踏まえ、発信・活動するべきかが問われています。そのためにも私たちがしっかりと先見性を持ち、研鑽を積み、先輩団体である中途失聴・難聴者協会皆様と連携して、今後障がい者の自立した活力ある社会生活に向けてどのように取り組むべきかを一緒になってしっかりと考えないといけないと思っております。更なるご指導ご鞭撻の程、伏してお願い申し上の次第です。

さて私事で大変恐縮ですが昨年度より全国難聴児を持つ親の会 会長を拝命いたしました。まだまだ若輩者で皆様には大変ご迷惑をおかけするかもしれませんが、様々な課題をしっかりと受け止め、国との折衝や地方親の会との連携が今まで以上に深まるよう尽力させていただく所存ですのでどうぞ暖かく見守っていただければ幸いです。

最後になりましたが香川県中途失聴・難聴者協会の今後ますますのご発展と会員皆様のご健康ご多幸を心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

香川県難聴児(者)親の会
会長 鎌田 浩二